

(英文)と指定のある項目以外は全て日本語で記入すること

申請書 1～2 ページの「申請書情報」は、「電子申請システム」より作成してください。

(申請書情報)

平成 30 年度 採用分  
若手研究者海外挑戦プログラム

申請書

第 版

審査領域		受付番号
分 科		
細 目		専門分野
分科・細目 コード		

研究課題名	(和文)
	(英文)

1. 申請者情報等

(所属機関コード: )

氏 名	(フリガナ) 登録名	(フリガナ) (姓) (漢字等) (姓)	性別
	(フリガナ) 戸籍名	(フリガナ) (姓) (名) (漢字等) (姓) (名)	
	ローマ字 表記	(ローマ字) (姓) (名)	
国 籍	日本 / 日本以外 (国名コード: 国名: )		
生年月日	(西暦) 年 月 日 生 (西暦 2018 年 4 月 1 日現在 歳)		

姓は全て大文字、名は最初の一文字のみ大文字、以降は小文字とすること

大学院 博士課程 (在籍または 在籍予定)	入学年月	(西暦) 年 月
	大学名	
学歴 (学部、 修士、博士)	研究科名	専攻名は不要・学籍上の所属を記入すること (× ~~~センター、~~~研究所)
	課程種別	西暦で記入すること と相違ないように記入すること
研究・職歴等	課程種別	4年制 ・医学研究科(医学専攻) ・薬学研究科(薬学専攻) 5年制 ・アジア・アフリカ地域研究研究科 ・総合生存学館 上記以外は「3年制」を選択
	研究・職歴等	西暦で記入すること 特別研究員採用歴を記入する際には、下記の例に従って記入すること 採用年度(2桁)と受付番号を末尾に記入すること (例えば、平成22年度採用 受付番号 123 の場合、末尾に「22-123」と記入) 例1: 2009年4月~2010年3月 DC1申請・採用 (21-123) 2010年4月~2012年3月 DC1採用後PDに変更 (21-123) 例2: 2009年4月~2011年3月 DC2内定後PDに変更 (21-4567) 例3: 2011年4月~2014年3月 PD申請・採用 (23-123) 例4: 2011年4月~2012年3月 PD内定後DCに変更 (23-4567) 2012年4月~2014年3月 DC2採用後PDに変更(23-4567)

派遣を希望する期間	(西暦) 年 月 日 ~ (西暦) 年 月 日 ( 日間)
派遣国	3か月以上1年以内の期間で記入すること 派遣開始日は、2018年4月1日~2019年3月31日までの間とすること

大学院博士 後期課程 における 研究指導者	(フリガナ) 氏 名	(フリガナ) (姓) (名) (漢字またはローマ字) (姓) (名)
	科研 研究者	採用年度の4月1日までに大学院博士課程に入学予定の場合には、大学院博士後期課程において指導を受ける予定の教員名を記載すること
	所属機関名	本ファイルの最終ページを参照すること
	部 局 名	部局種別
職 名	複数の身分を兼ねている場合は、原則として本務を記入すること	

申請者登録名

海外における 受入研究者	氏名	(FAMILY NAME) (First Name) (Middle Name) (英文) 海外受入研究者が日本人の場合、入力して下さい。 (漢字等) (姓)	<p>FAMILY NAMEは全て大文字、First NameおよびMiddle Nameは最初の文字のみ大文字で以降は小文字とすること ただし、Middle Nameについては、アルファベットのイニシャルと省略記号「.」で表記すること 例) Middle Nameが「Kyodai」なら、「K.」と表記</p>
	職	(英文) (和文)	
	受入機関名	(種別) (英文)	
		(和文)	
	受入部局名	(英文) (和文)	
評価書作成者	(フリガナ) 氏名		
	所属機関名		本ファイルの最終ページを参照すること
	部局名		部局種別
	職名		

研究活動における主な使用言語	複数回答可。
外国での研究遂行能力について (語学能力の確認)	<p>で記入したすべての言語について記入すること 例) において、「英語、フランス語」と記入していたら、 においても英語、フランス語どちらともについて記入すること</p>

②海外における研究歴	訪問先： 目的：	1か月以上海外で研究に従事した経験がある場合に記入 語学研修等研究以外の海外滞在は含まない 3件以上ある場合は、渡航期間の長い主要なものを優先すること 該当がない場合は、「該当なし」を選択すること
	期間：(西暦)	~
	訪問先： 目的：	
	期間：(西暦)	~
	訪問先： 目的：	
	期間：(西暦)	~

## 2. 現在までの研究状況

(図表を含めてもよいので、わかりやすく記述してください。様式の改変・追加は不可(以下同様))

- ①これまでの研究の背景、問題点、解決方策、研究目的、研究方法、特色と独創的な点について当該分野の重要文献を挙げて記述してください。
- ②申請者のこれまでの研究経過及び得られた結果について整理し、①と関連づけて説明してください。「3. 研究業績」欄に記載した論文等を引用する場合には同欄の番号を記載するとともに、申請者が担当した部分を明らかにして記述してください。

### 【P3～P6まで共通】

(英文)と指定のある項目以外は全て日本語で記入すること

10ポイント以上の文字で記入すること

枠の拡張又は縮小、記入しない項目の省略等様式の加工・変更、ページ数の変更は不可

これらが守られていない、また、内容に矛盾のあるもの、記入漏れなどについては、不備の申請書とみなされ、審査にあたり不利益を生じることがあります

申請者氏名 \_\_\_\_\_

氏名を記入すること。以下同様。

### 3. 研究業績 査読中・投稿中のものも含む

(下記の項目について申請者が中心的な役割を果たしたもののみ項目に区分して記載してください。その際、通し番号を付すこととし、該当がない項目は「なし」と記載してください。申請者にアンダーラインを付してください)業績が多くて記載しきれない場合には、主要なものを抜粋し、各項目の最後に「他〇報」等と記載してください。)

- (1) 学術雑誌等(紀要・論文集等も含む)に発表した論文、著書(査読の有無を区分して記載してください。査読中又は投稿中の場合にはその旨分かるように明記してください。著者(申請者を含む全員の氏名(最大20名程度)を、論文と同一の順番とします)、題名、掲載誌名、発行所、巻号、pp開始頁-最終頁、発行年をこの順で記入してください。)
- (2) 学術雑誌等又は商業誌における解説、総説 (1)と同様に記載してください。
- (3) 国際会議における発表(口頭・ポスターの別、査読の有無を区分して記載してください。著者(申請者を含む全員の氏名(最大20名程度)を、論文等と同一の順番で記載すること)、題名、発表した学会名、論文等の番号、場所、月・年を記載してください。発表者に〇印を付すこと。発表予定のものも含めて構いませんが、発表予定である旨明記して記載してください。)
- (4) 国内学会・シンポジウム等における発表 (3)と同様に記載してください。
- (5) 特許(申請中、公開中、取得を明記してください。ただし、申請中のもので詳細を記述できない場合は概要のみの記述で構いません。)
- (6) その他(受賞歴等)

#### 【注意事項】

申請者にはアンダーラインを引くこと

例) 京大太郎、京大花子

(1)(3)(4)については査読の有無を記入すること

(3)(4)については口頭・ポスターの別を記入すること

例) Kyodai T,Kyodai H... (査読あり・ポスター発表)

(3)(4)については発表者名に〇印を付すこと

例) 〇京大太郎、〇京大花子

申請者氏名 \_\_\_\_\_

#### 4. 派遣先における研究計画

(1) 研究目的・内容（図表を含めてもよいので、わかりやすく記述してください）

- ① 研究目的、研究方法、研究内容、特色と独創的な点について記述してください。
- ② どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのかを、具体的に記入してください。
- ③ なお共同研究の場合には、申請者が担当する部分を明らかにしてください。

申請者氏名 \_\_\_\_\_

(2) 外国で研究することの意義（派遣先機関・指導者の選定理由）

- ① 申請者のこれまでの研究と派遣先機関（指導者）の研究との関連性について記述してください。
- ② 内外の他研究機関（研究者）と派遣先機関（指導者）とを比較し、派遣先で研究する必要性や意義について明らかにしてください。（フィールドワーク・調査研究を行う場合、派遣先地域で研究する必要性や意義を中心に述べても構いません。）

派遣先機関（指導者）との打合せ状況についても記入すること

申請者氏名 \_\_\_\_\_

申請書 7 ページの「受入意思確認書」は、「電子申請システム」より作成してください。

(Overseas Challenge Program for Young Researchers)

受入意思確認書

Letter of Intent to Accept Prospective Fellow by Host Researcher

I am willing to host the following person if she/he is awarded  
a Overseas Challenge Program for Young Researchers.

Applicant name 申請者氏名	SHINSEI, Taro
-------------------------	---------------

Host Researcher 受入研究者	Name 氏名	UKEIRE, Taro
	Position 職	Professor
	Department 受入部局名	Department of XXXXXXXXXX
	Institute 受入機関名	University of XXXXXXXXXX

EXCEPTION CAUSE  
特記事項

(空欄可。特記すべき事項がある場合のみ記入。)  
(全角 500 文字 (半角英数字の場合は 1000 文字) 以内、改行は 5 回まで)

Date: 1 / March / 2017 )  
(day) (month) (year)

申請書 8 ページの「評価書」は、「電子申請システム」より作成してください。

若手研究者海外挑戦プログラム申請者に関する評価書

評価書作成者	氏名	ヒョウカ タロウ 評価 太郎
	所属機関名	〇〇の研究機関
		〇〇〇〇〇〇 (XXXXXX)
	部局名	〇〇〇〇〇 (XXXX)
職名	〇〇〇 (XXX)	
申請者との関係	現在の受入研究者	
申請者の研究姿勢・忍耐力・研究の進捗状況、専門知識・技量、着想力・創造力、コミュニケーション能力、語学能力、リーダーシップ、将来性などについて。また、研究の独創性又は特色について（その研究が共同研究である場合は、特に申請者の当該共同研究において果たした役割及びその寄与の程度を明記）。		
コメント コメント コメント コメント コメント		

見本

## 主な部局種別

部局	例	部局種別
〇〇部	文学部 等	「学部」を選択
〇〇研究科	文学研究科 等	「研究科」を選択
〇〇教育部	公共政策連携教育部 等	「その他」を選択して、「教育部」と入力
〇〇研究部	経営管理研究部 等	「その他」を選択して、「研究部」と入力
〇〇研究所、〇〇センター	人文科学研究所、 こころの未来研究センター 等	「附置研等」を選択
〇〇研究院	高等研究院 等	「研究院」を選択
総合博物館	—	「附置研等」を選択
地球環境学舎	—	「その他」を選択して、「舎」と入力
地球環境学堂	—	「その他」を選択して、「堂」と入力
国際高等教育院	—	「その他」を選択して、「院」と入力
総合生存学館	—	「その他」を選択して、「館」と入力
産官学連携本部	—	「その他」を選択して、「本部」と入力